

学校名	益田市立豊川小学校
授業者	富澤 恵美

## 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

### 1-1. 単元名

「発見！豊川」

### 1-2. 学年

3・4年生

### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、社会

### 1-4. 単元の概要

#### 「前期」

- ・益田川の生き物を捕った場に行き、川の状態を知る。
- ・地域へ生き物についてのアンケート調査をする。
- ・ゲストティーチャーを招き、益田川の生き物や歴史について知る。
- ・益田川の生き物調べから、川のきれいさについて考える。
- ・調べたことをまとめ次の課題を見つける。
- ◆益田川の場所によって川などの自然の違いについて調べる。

#### 「前期・後半～後期」

- ・益田川のいろいろな場所の水質について調べる。
- ・異なる川の水質について調べる。
- ・ゲストティーチャーを招き、水質と自然とのかかわりを知る。
- ・益田川の場所による違いやその他の川と比較・分類・関連付けて考える。
- ・調べたことをまとめ次の課題を見つける。
- ◆より良い自然を守るために必要なことについて調べる。

#### 「後期」

- ・自然を守るための活動するにはどのような取り組みをすればよいか考える
- ・地域など、自然を守るためにしていることについて調べる。
- ・ゲストティーチャーを招き、川と森林とのつながりについて学ぶ。
- ・自然を守るための活動をする。
- ・体験したことを通して、感じたことをまとめ表現する。
- ・より良い自然を守るために自分たちが出来ることについて表現する。

### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・豊川の良さを考える活動を通して、自然の豊かさに気づき、そこから課題や疑問を見つける。
- ・アンケートや実地調査などの課題解決に向けて探究的な活動をする中で、自然に関わる人たちの工夫や苦労について考える。
- ・収集した情報を比較・分類・関連付けて相手を意識して表現する力を育てるとともに、自然やそれを取り巻く人々と進んで関わりを持ち、より良い自然環境を作っていこうとする態度を養う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p><b>「前期」</b>          体験活動から課題を見出す。          地域や公民館の協力を得て、アンケートを取り情報を収集する。          専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。          捕った生き物と水質との関わりについて調べる。          学習のまとめをし、これからの課題を見つける。          自分と異なる考えや意見に気づく。          追求していく課題を見つける。</p> <p><b>「前期・後半～後期」</b>          体験活動から課題を見出す。          課題解決に向けて、協力して取り組んでいる。          専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。          収集した情報を基に、特徴を見出す。          学習のまとめをし、これからの課題を見つける。          追求していく課題を見つける。</p> <p><b>「後期」</b>          課題を設定し、解決方法を考える。          情報を収集する。          専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。          自分と地域のつながりに気づき、進んで活動する。          探究的な活動を通して、自分にできることについて気づく。</p>
---

1-7. 単元の展開（全 70 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
4	・益田川の生き物を捕った場所に行き、川の状態を知る。	体験活動から課題を見出す 外部講師：NPO 法人アンダンテ 2 1（2名）
6	・地域へ生き物についてのアンケート調査をする。 ・ゲストティーチャーを招き、益田川の生き物や歴史について知る。	地域や公民館の協力を得て、アンケートを取り情報を収集する。 専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。
5	・益田川の生き物調べから、川のきれいさについて考える。 ・調べたことをまとめ次の課題を見つける。	捕った生き物と水質との関わりについて調べる。 学習のまとめをし、これからの課題を見つける。 自分と異なる考えや意見に気づく。
5	・益田川の場所によって川などの自然の違いについて調べる。	追求していく課題を見つける。
6	・益田川のいろいろな場所の水質について調べる。	体験活動から課題を見出す。

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる川の水質について調べる。</li> <li>ゲストティーチャーを招き、水質と自然とのかわりを知る。</li> </ul>	<p>課題解決に向けて、協力して取り組んでいる。</p> <p>専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。</p> <p>外部講師：NPO 法人アンダンテ 2 1 (2名)</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>益田川の場所による違いやその他の川と比較・分類・関連付けて考える</li> </ul>	<p>収集した情報を基に、特徴を見出す。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをまとめ次の課題を見つける。</li> <li>より良い自然を守るために必要なことについて調べる。</li> </ul>	<p>学習のまとめをし、これからの課題を見つける。</p> <p>追求していく課題を見つける。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を守るための活動をするにはどのような取り組みをすればよいか考える。</li> <li>地域など、自然を守るためにしていることについて調べる。</li> </ul>	<p>課題を設定し、解決方法を考える。</p> <p>情報を収集する。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲストティーチャーを招き、川と森林とのつながりについて学ぶ。</li> </ul>	<p>専門の人から話を聞き、必要な知識を得る。</p> <p>外部講師：齋藤正明さん</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を守るための活動をする。</li> </ul>	<p>自分と地域のつながりに気づき、進んで活動する。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験したことを通して、感じたことをまとめ表現する。</li> </ul>	<p>自分と地域のつながりに気づき、進んで活動する。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い自然を守るために自分たちが出来ることについて表現する。</li> </ul>	<p>探究的な活動を通して、自分にできることについて気づく。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

・益田川の生き物を捕った場所に行き、川の状態を知る。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1, 益田川について知っていることやイメージについて確認する。 ・汚い ・汚れている ・少しきれい ・入ったことがある（遊んだ）	・益田川についての知っていることやイメージを確認することで、これから活動する内容や課題についてどの程度の知識や情報量を持っているかを確認する。（スタートラインをそろえる。）
2, どんな生き物がいるかを予想する。 ・どじょう ・うなぎ ・あゆ	・子どもたちが知っている生き物やこれまでの経験から知る生き物を予想する。ここでは、自由に発言させ、ガサガサに向けて気持ちを高める。
3, 益田川へ行きガサガサ（水生生物調査）を行う。	・外部講師の指導のもと水生生物調査を行う。 ・安全に配慮し、講師は生き物についての助言を行い担任、職員は子どもたちの様子を確認し作業を行う。
4, ガサガサで見つけた生き物について感想、振り返りを行う。	・タモ網で見つけた生き物は、水槽で観察し、講師より説明後すぐに川へ戻すようにする。必要に応じ、写真や動画で保存する。

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・生き物が苦手な児童も多かったが、実際にガサガサを行うことで生き物に触れようとする児童がいた。
- ・川に実際に入ること、川の水の色や水温など自分の目や体感を通して、川についてより親しみがもてた。
- ・外部講師の専門的知識のおかげで生き物に興味をもち、珍しい生き物が生息している事実や生き物について知らなかった事実など、今まで自分たちがイメージしていた益田川と違う一面に気付き始めるきっかけとなった。

### 4. 今後の課題

- ・生き物調べで終わらず、生き物から分かること、気付きにつなげることが必要。
- ・目に見た目と実際の水質は違うことへの気づき。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・温かい時期のガサガサは体力的に問題ないが、5月はまだ水温が十分でないことから途中で休憩時間を十分とって行うことが必要であった。そのため、時間を十分にとり、活動にあっている。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

## 6. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 6-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 6-2. 本時の目標

- ・異なる川の水質について調べる。
- ・ゲストティーチャーを招き、水質と自然とのかかわりを知る。

### 6-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1, 益田川の水質について考える。 ・水のごれは見た目で見分ける。 ・見た目では分からないから何か実験を行う ・何かの機械を使って調べる	・ガサガサの経験から、見た目では川の水についてはあまり汚れていないと感じ始めた児童の実態から、見た目では正確な水質は分からないということを専門家から教わる。
2, 水質調査（パックテスト）について知る。	・専門的な知識が高いため、数値を示すものや視覚的に分かるように図にしたものを子どもたちに提示する。
3, 益田川・高津川へ行き（5か所）水質調査を行う。	・外部講師の指導のもと水質調査を行う。 ・可能な限り、外部講師の指導のもと子どもたちにパックテストを行わせる。
4, 結果を記録し、川の場所、結果から分かることを考える。	・場所と川の水質（見た目）は写真に記録し、振り返りの際に活用できるように写真で記録しておく。

## 7. 今回の活動の自己評価

- ・パックテストを行うことで視覚的に色が変わり、子どもたちは意欲的に調査を進めることができた。
- ・場所をかえて行うことで上流から下流になっていることを直接指導することができ、言葉だけではイメージが難しい児童にとっては効果的だった。

## 8. 今後の課題

- ・パックテストのやり方が難しく、正しく測定するまでにかかなりの時間がかかった。(子どもの力、とくに指の力が弱いため難しいと感じた)
- ・結果の数値が大きく変わらなかったことやパックテストの数値の限界があるため、専門的なことは外部講師の助言がとても大切だと感じた。
- ・パックテストの色は子どもでは判断しにくく、3・4年生にとっては判断に苦しむこともあった。

## 9. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特殊な薬品（パックテスト）を取り扱うため、ゴム手袋、使用後のごみの処理なども配慮し学習を行った。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。



5月13日 ガサガサの様子





10月25日 水質調査の様子

